

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹市議会 だより



May.2, 2024 vol. 251

CONTENTS

vol.251の主な内容

- P.2~5... 代表質問
- P.5 個人質問
- P.6~7... 議案審査
- P.7 議決結果
- P.8 人事



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

委員会の視察報告
市議会からのお知らせ
会議の予定

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単
にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載して
います。(通信費は利用者負担になります。)

第4回 伊丹市議会

議会報告会 & 議会ツアー

5月19日 日

場 所

伊丹市議会 本会議場

時 間

【午前の部】10:00~12:00 【午後の部】15:00~17:00

ご案内

事前の参加申し込みは不要です。
希望者には、議会報告会后に議会ツアー(30分程度)を実施します。
※傍聴席に磁気ループを設置しています。また、親子傍聴席もあります。
小さなお子様連れの方、障がいをお持ちの方、安心してご参加ください。
ご利用の方は受付の際にお申し出ください。

議会ツアー
+30分程度



市役所1階、
多目的スペース横の
議会棟入口から
お入りください。



お問い合わせ

伊丹市議会事務局

☎072-783-1344 ☎072-784-8092
✉shigikai-g@city.itami.lg.jp

詳細は市議会
ホームページで
お知らせします。



代 表 質 問

令和6年第1回定例会(2月15日～3月26日)では、各会派を代表して6人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 検索

市議会ホームページから
3つの方法でご覧いただけます。

①会議録検索システム(6月上旬に掲載予定)

②インターネット議会中継(ライブ・録画)

③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨



会派別議員一覧

伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

●公明党

代表 篠原 光宏
北原 速男
(副議長) 竹村 和人
永松 敏彦
松浦 晴美
前田伸一郎

●新政会

代表 杉 一
泊 照彦
加藤 光博
(議長) 戸田 龍起
土井 秀勝
花田康次郎

●伊丹維新の会

(監査委員) 代表 齊藤 真治
大江 広人
森 華奈子
鈴木 隆広
原 直輝

●フォーラム伊丹

代表 保田 憲司
山園 有理
大津留 求
岸田真佐人
高橋 あこ

●創政会

代表 川井田清香
鈴木久美子
新内 善雄

●日本共産党 伊丹市議会議員団

代表 服部 好廣
加柴 扶美

○会派に属さない議員

高塚 伴子



公明党

篠原 光宏 議員

未来を見据えた市政運営

問 高齢化や人口減少が進むとともに、出生数が減少している中、これからの市政において、今なすべきこと、今後の進むべき方向について市長の見解を伺う。

答 市長就任以来、積極的に行財政改革を行い、安全・安心のまちづくりと伊丹の未来を担う人づくりを中心とした市政運営に注力してきた。人づくりは、まちづくりを進めるための基盤であり、また、子どもたちの健全育成のための環境整備や子育て世帯の負担軽減策は、少子化対策における最

重要施策であると確信している。令和6年度は、中学校給食費の全額無償化や、小学校給食食材費の物価上昇分を公費負担することに加え、産後ケアの充実や不登校対策の強化など、子どもたちへのさらなる投資を進める。また、今後の市政運営でも、限られた経営資源を最大限活用し、少子化対策をはじめとする本市の未来を見据えた魅力ある施策を充実させることにより、誰もが安心して生き生きと暮らすことができる「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ伊丹」の実現を目指していく。

新庁舎の市民広場と地下倉庫の活用方法

問 災害時に復旧・復興拠点となる新庁舎整備が進められているが、隣接する市民広場に備わる機能と地下倉庫の活用方法を伺う。

答 市民広場は、平常時には市民の憩いの広場として、災害時には、庁舎とともに応急災害活動拠点の

一部となり、災害救助活動の応援部隊となる消防や自衛隊などの受入れのほか、ボランティアの活動空間として整備する。また、地下倉庫の使用方法について、平常時は、市民が楽しめるイベントや啓発事業などに使用する物品や行政活動に使用する物品、選挙用品などを保管する。災害時は、災害救助活動に使用するテントや机などの備品や備蓄品の保管、応急支援物資を一時的に収納する倉庫としての利用を計画してお

り、平常時・災害時の使用分けが可能な約930㎡の大規模な倉庫として使用する予定である。



新庁舎市民広場のイメージ図

新政会

泊 照彦 議員

子育て支援・教育施策のさらなる充実に向けて

問 令和2年に人口減少に転じた本市は、今後、選ばれるまちを目指すことが重要である。令和6年度は、中学校限定ではあるが、新政会が提案してきた学校給食費の全額無償化が実施される。給食費無償化をはじめ、育

て支援・教育施策の充実に向けた今後の展開を市長に伺う。

答 本市が持続可能なまちであり続けるためには、未来を担う全ての子どもを対象とした施策が必要であり、安心して子育てができと思える環境の整備が肝要である。令和6年度は、確保できる財源規模を踏まえ、各

学校体育館空調設備の整備

～今後のスケジュール～

問 近年の猛暑から子どもたちを守るとともに、避難所としての環境整備の観点から、令和6・7年度の2か年で全ての小中学校と市立高等学校の体育館に空調設備を整備されるが、今後の整備スケジュールについて伺う。

答 学校体育館への空調設備の速やかな整備に向けて、学校運営に支障のない時期などを前提に、小学校では、現在整備を進めている神津小学校に加え、令和6年11月から翌年2月初旬までの間に、南・笹原・瑞穂・天神川・荻野・池尻小学校の6校と、東・西・南・天王寺川中学校の4校の合計11校で整備を計画している。また、令和7年度は、主に夏休み期間に、その他の10

家庭の教育費関連の負担が重くなる中学生の学校給食費の全額無償化を実現するとともに、小学校給食では食材費の物価上昇分を公費負担する。また、学校体育館への空調設備の整備や電子図書館の導入に取り組むとともに、産後ケア事業の拡充や保育定員の確保、放課後児童くらぶの充実、不登校対策の強化なども引き続き行う。子どもたちの笑顔があふれ、誰もが希望を抱くことのできる、未来が輝くまちづくりを目指すため、国のこども未来戦略の進捗を注視しながら、本市の未来を見据えた魅力ある施策を展開していく。

小学校及び4中学校と市立高等学校の合計15校で整備を計画している。



体育館空調設備のイメージ

伊丹維新の会

大江 広人 議員

不登校対策支援の充実に向けた取組と効果

問 不登校児童生徒への対応として、専門職員などが一体となって支援する重層的な体制を整備し、一人ひとりの状況に応じた支援の充実が図られるが、各事業の連携方法と効果は。

答 これまで学校内外で別々に講じてきた不登校支援について、不登校対策支援員、生徒指導担当、スクールソーシャルワーカー、教育支援センター長等を構成員とする不登校対策チームを立ち上げ、各事業の現状や傾向、不登校対策に係る最新情報等を共有し、各事業へフィードバックする。こ

観光客を呼び込むには～市のPR方法～

問 大阪・関西万博を目的に来阪する観光客を、本市に誘客するためのPR方法について伺う。

答 県は、国内外から多くの人を呼び込み活性化につなげるべく、各地域の体験プログラムを楽しむ事業を展開している。当該事業には本市も

含まれており、市内外にPRするため、市ホームページやSNS等を活用して積極的に情報発信するとともに、インバウンドに向けては、多言語対応が可能な文化庁の日本遺産ポータルサイトや県観光サイト等を活用し、伝統と文化の魅力を発信していく。また、日本遺産の認知度向上に向け、視覚的に訴求するPRや、官民連携による取組も実施している。加えて、日本遺産構成5市域で開催されている清酒と親和性の高いイ

の取組により児童生徒及び家庭の情報を一元的に集約し、専門的視点から子どもに置かれている背景や、児童生徒及び保護者の願いに応じた適切な支援策等を検討することで、別室登校などの一人ひとりの学校での居場所づくりや、総合教育センター「やまびこ」と連携した支援等、社会的自立を見通し、学校への的確な助言や、児童生徒及び保護者へのより適切な支援を見出していく。不登校や不登校傾向にある児童生徒を学びや社会につなぐことが、今後目指していく効果と考える。

ベントには市域外から多くの人が来場するため、各市が相互にPRすることで、本市への誘客促進効果も期待する。



日本遺産を紹介するリーフレット




高橋 あこ 議員



市民力の活用策

問 自治会加入率が低下する中、自治会等の高齢化が進み、役員の成り手不足が深刻な状況である。地域を盛り上げるため、地域の課題解決や魅力向上に向けて活動する団体等への助成制度の創設について見解を伺う。

答 市は、おおむね小学校区を活動範囲とする地域自治組織に対して、地域の課題解決や魅力向上に向けた地域活動に活用できる地域総括交付金を交付している。地域活動の継続には、市民活動団体等との連携が必要と認識し、団体等がより活動しやすくなるような当該交付金の活用事例等も示しながら活用方法を共に考えていく。



まちプラ交流カフェの様子

また、市民活動団体を対象とする公募型協働事業提案制度等をより効果的に活用できるよう、地域のニーズを捉えながら、団体等が活動しやすい環境を維持するとともに、地域の課題解決や魅力向上に向けた活動を支援していく。

への支援策を伺う。

答 国から、介護給付費の増加を見据え、1号被保険者間での所得再分配機能を強化し、低所得者層の保険料上昇を抑制するために所得段階設定の多段階化の方針が示されたことを受け、市では、被保険者の負担の公平化を図るため、これまでの12段階から18段階へと多段階化を図り、第1～3




川井田 清香 議員



能登半島地震への支援と教訓を踏まえた災害対策

問 29年前に発生した阪神・淡路大震災を経験した職員が減少する中、能登半島地震への職員派遣で得た経験や教訓を、南海トラフ巨大地震などの災害対策へ最大限に役立ていくとの施政方針であったが、職員派遣による教訓をどのように役立て、災害対策に備えていくのかを伺う。

答 派遣職員からの報告などから、上下水道、電気等のライフラインへの甚大な被害や、道路寸断による支援や物流の停滞、さらには、高齢者をはじめ多くの要配慮者が避難所生活で不便を感じており、避難所環境に関する諸問題が浮き彫りとなっている。市では、能登半島地震により問題提起された備蓄品の再点検を行い、広範囲にわたる大規模災害の発生に備え、発電機や段ボールベッド、簡易トイレキッ



備蓄品のイメージ

トの備蓄品を拡充するとともに、新庁舎前に整備する市民広場、地下倉庫も有効活用しながら備蓄品の保管管理を適切に行っていく。また、被災地の家屋被害調査で活用したタブレットは、令和6年度から導入するシステムと同様のものであることから、今後の運用やマニュアル整備に生かしていく。

小学校給食費無償化の実施について見解を伺う。

答 令和6年度の財源は、令和5年度から繰り越した物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金8,000万円と財政調整基金約2億5,000万円を取崩し、給食無償化等交付金として対

学校給食無償化等事業の財源

問 令和6年度は小学校給食食材費の物価上昇分の公費負担と中学校給食費全額無償化の経費の合計として約3億3,000万円を予算計上しているが、令和7年度以降の財源確保と、




服部 好廣 議員



避難所の環境整備と女性の視点を活かした職員体制

問 防災関連部署で働く女性の割合が低い自治体ほど、女性・乳幼児用品などの備蓄が少ない傾向にあるが、①ジェンダー平等に配慮した避難所環境の在り方と、②防災関連部署への女性職員の配置状況を伺う。

自衛隊への募集対象者情報の提供

問 自衛隊に対し、18歳・22歳の青年の個人情報を電子データで提供していることへの見解と、過去5年間の提供件数、また個人情報の提供を続けることにより、自衛隊がほとんどの市民の個人情報を把握できること

答 ①様々な災害の教訓から、特に物干しスペースや仮設トイレの男女比の配分、照明や防犯対策の在り方のほか、更衣室や授乳室の確保、生理用品、下着などの配布方法等の避難所運営は、女性や子どもに十分配慮した取組が必要と認識している。運営面では、女性の視点を考慮することを基本に、炊き出しや清掃などの役割が性別によって偏り、固定化しないよう、市について見解を伺う。

答 自衛官及び自衛隊候補生の募集事務に際して必要となる募集対象者情報の提供は、自衛隊法第97条第1項及び同法施行令第120条に規定されており、地方自治法第2条及び同法施行令第1条別表1において、第1号法定受託事務として、市が処理する事

避難所運営マニュアルに明記し、防災訓練で活用している。②市危機管理室には、正規職員のうち女性職員を1人配置している。加えて、会計年度任用職員として防災士資格を持つ女性職員1人を配置し、災害支援に女性の視点により活かされるよう配慮している。



笹原公園内の第2備蓄倉庫

務と規定されているとともに、個人情報保護法でも当該事務は法令に基づく事務に該当するため問題はないと認識している。5年間で提供した個人情報の延べ人数は2万1,854件になるが、利用後は情報を破棄し、当該CD-Rを速やかに返却するという条件を付した上で提供しているため、自衛隊に個人情報は残っていないものと認識している。

個人質問

代表質問のほか、17人の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問の項目のみを紹介します。代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。





公明党

北原 速男 議員

- 特殊詐欺による被害対策●統合新病院整備事業スケジュール等●不在者投票の投票用紙等のオンライン化

永松 敏彦 議員

- ごみ処理施設並びにごみ収集車の発火に対する対応●家庭ごみ収集運搬等委託業務●EV充電器導入事業

松浦 晴美 議員

- 学校で実施される健康診断のための環境整備●産前産後ケア●帯状疱疹ワクチン助成制度

前田伸一郎 議員

- 介護事業所への支援●就学前施設における医療的ケア児への継続支援体制●視覚障がい者への支援「路切内の誘導路設置」



新公会

加藤 光博 議員

- 水道DXの取り組み●障がいのある方への投票環境の整備

土井 秀勝 議員

- 持続可能な市営バスサービスの提供●生成AIがもたらす行政サービス



伊丹維新の会

森 華奈子 議員

- 待機児童・保育児童・隠れ待機児童●中学校部活動の休日の地域移行

鈴木 隆広 議員

- 教育DX「子ども電子図書館」●水道DX「人工衛星画像を活用した広域漏水調査事業」●二次元バーコード・申し込みフォームの今後の拡充●スマホ相談室

原 直輝 議員

- 産前産後サポート事業●プラネタリウム100周年記念事業の検証●食品ロス問題への取組み



フォーラム伊丹

保田 憲司 議員

- 学校、教育委員会事務局、教育長など、子どもや教育にかかわる部署間の連携や連絡体制●学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の課題と求められる役割●これからの児童くらぶ

山岡 有理 議員

- 幼児教育の在り方●市営バスの今後

大津留 求 議員

- 街頭犯罪減少傾向は1000台規模のカメラ有無とほぼ無関係●生活困窮者自立支援事業と住居

岸田真佐人 議員

- 教育長の振り返りと未来へのメッセージ●部活動の地域移行計画



創政会

鈴木久美子 議員

- 少年愛護活動●公共施設の管理運営●都市計画道路山田伊丹線

新内 善雄 議員

- 投票環境●eスポーツ



日本共産党伊丹市議会議員団

加柴 扶美 議員

- 市立伊丹病院に於ける宿日直許可の扱い●教育のデジタル化と子どもの身体に及ぼす影響●介護施設におけるBCP（災害時業務継続計画）の策定と今後の対応



会派に属さない議員

高塚 伴子 議員

- 想定される地震に対しての備え●学校教育●ひとり親世帯への支援

議案審査

令和6年第1回定例会では、**議案は54件**でした。

ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された4つの委員会の内容をご紹介します。

なお議案名の横に**A**～**C**とあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。



総務政策常任委員会

○令和5年度 一般会計補正予算



21億8,659万9千円を追加補正

国の補正予算に伴う有利な財源を活用し、学校施設、道路橋、及び公園施設等のインフラの老朽化対策等が行われます。



文教福祉常任委員会

- 令和5年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和5年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 令和5年度 介護保険事業特別会計補正予算
- 手数料条例の一部改正



都市企業常任委員会

- 手数料条例の一部改正
- 令和5年度 病院事業会計補正予算
- 令和5年度 下水道事業会計補正予算

委員会付託なし

- 新庁舎整備工事の請負契約の一部変更契約
- 市営天神川団地1・2・4号館耐震補強他工事の請負契約の一部変更契約
- 教育長の任命
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 荒牧財産区管理委員の選任(7件)
- 教育委員会委員の任命(2件)
- 議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定



予算等審査特別委員会

○令和6年度 一般会計予算 **A**



一般会計予算額は870億円

令和6年度一般会計当初予算は870億円で、前年度比42億円増(5.1%増)となっています。

歳入においては、市債が普通建設事業の増加等により10億9千万円増、市税が定額減税等により7千万円減となります。歳出においては、扶助費が重点施策である子育て施策の充実及び社会保障関係費の増加等により19億9千万円増、補助費等は給食費の無償化等により7千万円増となります。

◆予算の概要

昨年に続き、未来を担う全ての子どもたちの健やかな成長を支える子育て支援が位置づけられました。学校給食において、引き続き小学校給食の食材費の物価上昇分を公費で負担することに加え、中学校給食が全額無償化されます。不登校対策として、不登校対策支援員等の専門職と協働するなど、新たに重層的な体制を整備し、不登校対策の充実が図られます。また、能登半島地震の被災地の状況に鑑み、災害発生初期に必要な物資の備蓄強化や、日ごろは子供たちの活動に供し、災害時は避難所となる全小・中、市立高等学校の体育館空調設備を2カ年かけて整備するなど、安全・安心のまちづくりに取り組みます。さらに、子ども電子図書館や、データ連携型生成AIを導入するなど、デジタル技術の活用を促進し、市民サービスの向上と業務の効率化に取り組まれます。加えて、民間活力を活用した公共施設等へのEV充電器導入に向け、ポテンシャル調査が実施されます。また、脱炭素実現に向けた市民参加型の自然環境保全再生プロジェクトや体験型環境啓発イベント等を実施し、市民や事業者と一体となって、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。これら「未来への投資」に資する事業が盛り込まれました。

その他の議案

- 令和6年度 国民健康保険事業特別会計予算
- 令和6年度 後期高齢者医療事業特別会計予算
- 令和6年度 介護保険事業特別会計予算 **B**
- 令和6年度 鴻池財産区特別会計予算
- 令和6年度 荒牧財産区特別会計予算
- 令和6年度 新田中野財産区特別会計予算
- 令和6年度 病院事業会計予算
- 令和6年度 水道事業会計予算

- 令和6年度 工業用水道事業会計予算
- 令和6年度 下水道事業会計予算
- 令和6年度 交通事業会計予算
- 令和6年度 モーターボート競走事業会計予算
- 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
- 一般職員勤務分限条例等の一部改正
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正
- 市立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正
- 手数料条例の一部改正(2件)
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部改正
- 介護保険条例の一部改正 **C**
- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- 市営住宅条例の一部改正
- 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- 水道事業給水条例の一部改正
- 市道路線の認定
- 市税条例の一部改正



総務政策分科会(3月8日・11日)

構成員
泊座長
杉分科員
服部分科員
新内分科員
大江副座長
保田分科員
松浦分科員
鈴木(隆)分科員



文教福祉分科会(3月12日・13日)

構成員
鈴木(久)座長
篠原分科員
花田分科員
前田分科員
岸田副座長
高橋分科員
加柴分科員
森分科員



都市企業分科会(3月14日・15日)

構成員
永松座長
加藤分科員
高塚分科員
川井田分科員
原分科員
山岡副座長
北原分科員
大津留分科員
土井分科員

議決結果



議案
報告
諮問

52件
1件
1件

賛否の分かれた議案

- A** 令和6年度 一般会計予算
- B** 令和6年度 介護保険事業特別会計予算
- C** 介護保険条例の一部改正

会派名 議員名	A	B	C
公明党	可決	可決	可決
北原 速男	○	○	○
篠原 光宏	○	○	○
竹村 和人(副議長)	○	○	○
永松 敏彦	○	○	○
松浦 晴美	○	○	○
前田伸一郎	○	○	○
新政会			
泊 照彦	○	○	○
加藤 光博	○	○	○
杉 一	○	○	○
戸田 龍起(議長)	—	—	—
土井 秀勝	○	○	○
花田康次郎	○	○	○

伊丹維新の会			
齊藤 真治(監査委員)	○	○	○
大江 広人	○	○	○
森 華奈子	○	○	○
鈴木 隆広	○	○	○
原 直輝	○	○	○

フォーラム伊丹			
保田 憲司	○	○	○
山岡 有理	○	○	○
大津留 求	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○
高橋 あこ	○	○	○

創政会			
川井田清香	○	○	○
鈴木久美子	○	○	○
新内 善雄	○	○	○

日本共産党伊丹市議会議員団			
服部 好廣	×	×	×
加柴 扶美	×	×	×

会派に属さない議員

高塚 伴子	○	○	○
-------	---	---	---

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。



3月定例会において、次の方々に同意しました。(敬称略)

▽教育長 太田 洋子
 ▽人権擁護委員候補者 鈴木 稲弘
 ▽荒牧財産区管理委員 田中 勝 阪本 悦治
 小西 一成 田中 弘章
 井上 新治 堀古 佳徳
 北間 幸雄
 ▽教育委員会委員 瀧川 光治 村上 順一

委員会の視察報告

都市企業常任委員会

(1/31) 兵庫県 尼崎市内
 「事業及び施設概要」



ボートレース尼崎

※詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

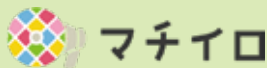
市議会からのお知らせ

本会議・委員会での質問及び答弁は、
 市議会ホームページから
 ご覧いただけます。



ご覧になる場合は、ここをクリック

アプリ「マチイロ」で
 伊丹市議会だより
 をご覧頂けます



※アプリのダウンロード・利用は無料ですが、通信費は利用者負担になります。また、アプリの管理は運営会社によるものです。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター（アイ愛センター）へお申し込みください。

☎072-772-0221 ☎072-780-2897

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/12	13	14	15	16	17	18
	議会運営委員会					
19	20	21	22	23	24	25
議会報告会	第2回臨時会 本会議					
26	27	28	29	30	31	6/1
				議会運営委員会		
2	3	4	5	6	7	8
		第3回定例会 本会議招集日 議員総会			本会議第2日 一般質問	
9	10	11	12	13	14	15
	本会議第3日 一般質問			本会議第4日 一般質問	議会運営委員会 本会議第5日 一般質問 議案質疑	
16	17	18	19	20	21	22
		総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会		
23	24	25	26	27	28	29
			議会運営委員会 本会議最終日 議員総会			



請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地（市役所3階）

☎072-780-4090 ☎072-784-8092 http://www.city.itami.lg.jp/

伊丹市議会だよりは86,200部作成し、印刷費は1部あたり7.98円です。